

# 小百合キンダーホームの自己評価

令和2年3月16日

A…よくできた B…できた C…一部改善が必要 D…改善しなければならない

## 1. 保育理念・保育観

1	園の保育理念・保育方針・全体的な計画を全職員に周知している	A
2	園の保育方針を基にした、全体的な計画が立てられている	A
3	定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	B
4	全体的な計画を基に行事や園外保育を計画し、実践・分析・評価している	B

毎年の総括会議では、法人や園の理念・方針を読み上げ確認をしている。またそれらは職員の共通理解を図るために、リーダーが中心となりわかり易く伝えていくようにした。行事等は昨年の反省をもとに見直しをしながら行ったため、スムーズに進行することが出来た。

## 2. 保育計画・保育実践と振り返り

1	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	A
2	子どもの発達を理解し、その先の見通しを持った保育を工夫している	B
3	配慮が必要な場合は、職員が共通認識を持ちその子に応じた対応をしている	C
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	A

年度初めの保育計画の立案・実践については予定通り行うことが出来た。子どもの発達について、リーダー保育士を中心に学びと教科書を基に保育の方法を伝えている。ただ、配慮が必要な場合について、会議等で個別の対応の共通理解は図れていたものの、もう少しきめ細やかな対応が出来るよう心がけたい。

## 3. 環境・安全

1	一人一人が安心して過ごせる環境を工夫している	A
2	園の保育方針を基にした、環境構成が整えられている	B
3	職員一人一人が健康・安全に対する認識を共有している	B
4	職員が危機管理意識を常に持ち、緊急時に対応できるようにしている	A

個々の子どもの様子を把握し、その都度安心して遊ぶことが出来る環境を工夫している。園外保育についてお散歩コースの見直しを行った。感染症やヒヤリハットについて、毎月1回研修の場を設け職員一人一人が知識を持ち対応が出来るようにしている。特に感染症については、個々に自己研鑽し知識を身につけられていると感じる。異常が見られた場合は、感染症の疑いも視野に迅速に対応している。

#### 4. 食育

1	職員が食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	栄養士・保育士等が連携し、食育を積極的にすすめている	A
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A

畑の収穫物は給食に利用する他、収穫したての作物をすぐにクッキングに生かすなど工夫して行うことが出来た。それにより子どもたちの「食」に対する関心が高まった。また、保護者に対し、その作物を用い降園時に簡単クッキングの紹介と試食などを行った。

#### 5. 職員構成・役割分担・研修

1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるよう心がけている	A
2	園内・園外研修の年間計画を立て、実行している	C
3	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	B

リーダーがそれぞれの役割を理解し、各職員と共に行う事で円滑に進むことが出来た。園内研修については、計画通りに進まず、もう少し改善が必要と思われる。実行可能な無理のない計画を立てつつ、地道に研修を行っていききたい。

#### 6. 保護者支援・子育て支援

1	保護者に対し、園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	A
2	保護者の状況等、個人情報への漏えいに気を付けている	A
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感するよう、心掛けている	C
4	地域で子育てをしている親子に配慮し、園児との交流を積極的に進めている	A

園の様子は印刷物や掲示板等で素早くお知らせ出来るようにしている。個人情報については入園児に説明する他、職員にも周知徹底している。保育士と保護者とのコミュニケーションについて、登降園の際、もう少し時間が取れればと感じる。地域の子育て支援家庭に対しては、支援センターと会議を共にすることで共通理解が図られスムーズに進めることが出来た。

#### 7. 小学校や地域社会との連携

1	定期的に地域の保育園や幼稚園・小学校との交流を行っている	B
2	町内会や地域の方との交流を積極的に行っている	A
3	ボランティアや実習生を受け入れる意義を理解し、受け入れる体制が整えられている	A

地域の保育園との連携として、5歳児の遊びの会の他給食調理員の交流などを行い、相互の職員にとって有意義なものとなった。町内会や地域の方とは良く交流が出来ている。ボランティアや実習生受け入れについては、職員に受け入れの意義と対応について伝えることで、有意義に過ごせているように感じる。今年度初めて小学校の研究授業に出かけ、学校の様子を把握することが出来た。今後も継続的に行っていきたい。